

地域社会とともに

アジア・オセアニアでの社会貢献活動

国からの援助がないクリスチャンスクールへの支援

南アフリカの従業員が未来の希望ある子どもたちと交流

ブラザーグループでは、「地域社会に対する社会的・経済的・文化的責任を可能な限り分担する」という考え方のもとに、各国・地域の拠点でさまざまな社会貢献活動を行っています。

ブラザーインターナショナル(南アフリカ)(以下、BI(南ア))は、ヨハネスブルグ郊外にあるオリーフェンハウトボス・クリスチャンスクールを2013年から支援しています。このスクールは生徒数172名、その多くは親のいない家庭で育つ子どもたちです。またスクールは国からの援助を受けておらず、個人または企業からの寄付により運営されています。このスクールに、食べ物などの支援などを行っている非営利団体"Moeggesukkel"からの紹介を受けて始めたこの支援は、教材の寄付だけでなく、トイレや換気設備の整備など、さまざまな施設の修繕も行ってきました。

2014年10月には従業員18名がスクールを訪問し、1月から始まる新学期に向け全校生徒に教科書を手渡しました。そして年末に行われたコンサートでは、私たちへの感謝の気持ちを表すためにと、生徒たちが聖書をもとに「友情」をテーマにしたミュージカルを演じてくれました。

校長のRia Wesselsさんは、「以前ここは地域で最も教育設備の乏しい学校でしたが、今は違います。ブラザーのおかげで、子どもたちの学習環境が大きく改善しました」と話してくれました。またBI(南ア)取締役であるWayne Evertonは、「この活動への参加を通して生徒の成長を見守っていくのが楽しみです。会社としても一人の人間としても、社会に貢献していくことはとても大切です」と述べました。

今後もBI(南ア)は、未来をつなぐ子どもたちのために、施設の修繕や環境整備、教科書の提供などを続けていきたいと考えています。



新学期に向けて贈られた教科書



ミュージカルを演じる子どもたち



校長のRiaさんとBI(南ア)の従業員

地域社会とともに

アジア・オセアニアでの社会貢献活動

ベトナムで地元小中学生を招いた工場見学会を実施

ベトナム・ハイズン省の教育支援を通じ行われた社会貢献活動

「ブラザーグループグローバル憲章」(以下グローバル憲章)は、世界中のグループ会社とグループ従業員の日々の意思決定と実行に関する「基本方針」と「行動規範」を定めたものであり、地域社会との関係について、「ブラザーグループは、所属する国や地域社会に対する社会的・経済的・文化的責任を可能な限り分担することにより、よき企業市民となるよう努力する。」と明記されています。

この方針に基づき、ベトナム・ハイズン省に拠点を構えるブラザーインダストリーズ(ベトナム)(以下BIVN)では、子供たちへの教育支援活動を継続的に行っています。

「ハイズン省の教育を支援することでハイズン省の発展へ貢献する」ことを目標に、近隣小中学校への文房具の寄付や大学生への奨学金支援を続けてきました。

こうした活動の一環として、2014年の9月と10月に地元小中学校の生徒を招き工場見学会を行い、4つの学校から延べ120名が参加しました。単に工場を見学するだけでなく、製造ラインでのネジ締め作業も体験できるようにして、子供たちの心に残るものとなるよう工夫をこらしました。また、製品を分解しながら、分別・リサイクルがどのように行われるかを紹介し、環境教育の側面にも大きく力を入れています。

参加した学校の先生からは「工場見学会の内容は学生に対して適切に準備されており、大変満足しています。また、きれいな工場環境や従業員の皆さんの働きぶりに感心しました」という声をいただきました。BIVNでは、今後さらに多くの子供たちを招くことができるよう、体制を整えるとともに、内容もより充実させていくことを検討しています。



従業員の説明に子供たちは熱心に耳を傾けてくれました